

競争的研究費獲得状況(2023年12月現在判明分)

2023年

| 新規/ 継続 | 研究者名 | 研究課題 | 研究費名 | 獲得金額 (間接経費等 含む総額) |
|-----------|--------------|--|--|-------------------------|
| R5新規 | 岩田宏満 (代表) | 脳組織に対する陽子線FLASH効果の検証と難治性脳腫瘍根絶へ向けた開発 | 令和5年度 特別研究奨励費 先端活性化支援a 名古屋市立大学 | 417万円 |
| | 岩田宏満 (代表) | 肝細胞癌に対する中心集束照射法を用いた、低侵襲かつ短期間な画像誘導陽子線治療の確立 | 公益財団法人武田科学振興財団 2023年度医学系研究助成(がん領域・臨床) | 200万円 |
| | 岩田宏満 (分担) | 陽子線治療の高精度技術標準化に基づいたモデルアプローチを含む臨床的有用性確立に関する研究 | 国立がん研究センター研究開発費 | 20万円 |
| | 岩田宏満 (分担) | 頭頸部扁平上皮癌に対する強度変調陽子線治療の実用化に向けた技術開発と有効性検証 | 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 | 39万円 |
| | 岩田宏満 (分担) | 患者由来の腫瘍組織移植モデルと有精鶏卵を用いた、新しい中性子捕捉療法の開発 | 科研費 基盤研究C | 6.5万円 |
| | 都築侑介 | FRACTUREなど新規MRI撮像技術の骨転移に対する放射線治療への応用開発 | 名古屋市立大学 特別研究奨励費 | 42.5万円 |
| | 岐部佳朗 | 粒子線治療における二次中性子測定のための6Li含有水シンチレータの開発 | 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)(一般) | 455万円 |
| R5継続 | 岩田宏満 (代表) | LETの違いを応用した次世代陽子線FLASH照射の生物学的解明と臨床応用の構築 | 科研費 基盤研究C | 136.5万円 |
| | 岩田宏満 (分担) | 小児固形腫瘍治療に対する粒子線治療のための吸収性スパーサー留置ラットモデルの構築 | 科研費 基盤研究C | 3.9万円 |
| | 岩田宏満 (分担) | 局所限局性前立腺癌中リスク症例に対する陽子線治療の多施設共同臨床試験と局所限局性前立腺癌に対する強度変調放射線治療の多施設前向き観察研究 | 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 | 5万円 |
| | 岩田宏満 (分担) | 切除可能肝細胞癌に対する陽子線治療と外科的切除の非ランダム化同時対象試験 | 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 | 39万円 |
| | 岩田宏満 (分担) | FLASH陽子線治療の基礎的検討と臨床研究への展開 | 科研費 基盤研究C | 6.5万円 |